

令和5年度 自己評価・学校関係者評価報告書

実施日令和6年3月

学校法人武蔵野平安学園
栄光乃園幼稚園

1 園の教育目標

- 1.神に祝福され、人に愛され、人を愛する子どもたちとしての成長を願う
- 2.学園の建学の精神であるキリスト教に基づき、子どもたちがより良い環境の中で健やかに成長発達するために教育活動を展開する。

2 本年度に定めた重点的に取り組む目標

- 保育内容の充実
- 保育環境の整備向上
- 保健衛生管理の徹底
- 安全管理の徹底
- 保護者との連携充実

3 評価項目の達成及び取り組み目標

A…十分達成されている B…達成されている C…取り組んでいるが成果が十分ではない D…取り組みが不十分である

評価項目	取り組み内容	自己評価	評価
教育課程	1) 一人一人の子どもが心身ともに健康、安全で安定した生活ができる環境を整える。	幼児の姿や成長発達段階を踏まえ、個々の幼児の理解と発達状況に適した指導計画を作成している。 職場におけるチームワークや関係するほかの専門機関との連携を大切にしてきた。自ら行う保育についても、常に子どもの視点に立って自己評価を行い保育の質の向上をはかる努力をしてきた。子ども主体の保育を心掛け、小学校と連携をとり共に学ぶ機会を持ち、「幼児期の終わりまでに育ってほしい姿」やスタートアップカリキュラムを共有して教育の接続を図る事が出来た。	A
	2) 研修や自己研鑽を通して常に自らの人間性と専門性の向上に努める。	常に自己の研鑽を行うため研修等に自発的に参加して保育の現場に生かしていく。また環境を作る。(時間など)	B
教育環境の整備	園児の成長発達を最優先事項とし、保護者のニーズを受け止め様々な行事を行うために配慮工夫を駆使して保育内容を見直し実行へつなげる。	行事への保護者の参加人数を制限したり、来園時間は時差を設定し密にならないように分散させるなど、保護者からの不満はあったものの、なんとか行事を遂行することができた。 昨年5月から新型コロナウイルスが5類に移行したこともあり、運動会やクリスマスの催しや未就園児クラスの保護者の参加をコロナ前とまではいかないが人数の制限を解除し学年毎ではなく一斉に行った。未就園児クラスもご両親や兄弟、その他祖父母の方の参加も可能となり園児のモチベーションも上げることができた。 ・また見学会の機会を多く設けて開かれた幼稚園めざしている。	A
保健衛生管理	<ul style="list-style-type: none"> ・感染症の対応と熱中症対策 ・家庭や医療機関との連携対応 ・健康観察 	<ul style="list-style-type: none"> ・新型コロナウイルス対策としてパーテーションを付け活動や給食も食べていたが、5月より外し、より園児同士の距離を縮められるように配慮した。ほぼ元の姿にもどっている。 また教師は常にマスクをしていたが、自己判断で外すこともできるようにしたため、園児や教師それぞれの表情が見られるようになり感情の表現が豊かになる一助となっている。 ・パスにも空気清浄機を設置し密室の対策を行った。 ・各クラスにも空気清浄機を設置した。 ・エントランスを含む各教室にアルコール、非接触型体温計を配置している。 ・WBGT や風力計を設置し熱中症対策をしている。 ・朝登園時、昼食前後、帰る前など1日3回熱をはかり熱中症を早期に発見できるように努めている。 ・水分補給を常に行い特に満3歳児や年少児の場合「ゴクゴクゴク」と音に見立て飲むように指導している。 水筒の中身もチェックしなくなった場合は補充している。 	A

安全管理	<ul style="list-style-type: none"> ・防犯訓練と防災訓練の実施 ・遊具の安全点検 ・園内に潜む危険なところを巡視や保育者の目線で確認 ・バスの安全点検 ・プライバシー保護 	<ul style="list-style-type: none"> ・各学期ごとに6回地震や火事、防犯の訓練を行った。 ・防災備蓄品を古いものから更新した。 ・職員や業者によるブランコ等、滑り台、ジャングルジムの遊具の点検を行っている。 ・安全衛生委員会で毎月巡視を行い、安全上や防災上に問題がある場合は、改善を行っている。 ・サイクルスタンドの設置や毎日職員が門にたっている。 ・バスは園に到着後、運転手、助手、総務主任が内部を後部座席や、座席下の確認を行い園児の取り残しがないかを毎日確認している。また補助金で設置した置き去り防止装置と、あわせて何重にも確認をしている。又園内においているバスは常に把握し管理している。 ・クラスにメールで本日の欠席者を連絡し、実際に在園している園児と常に照らし合わせて、連絡なく欠席している園児には優先連絡先の保護者に必ず連絡をしている。連絡がとれない場合は、第2優先先に連絡をし確認している。 ・園児のプライバシー保護のため名札は園に置いて帰る。体操服のお名前の部分が見えないように、登園時にはT-シャツを着て来る。鞆類は見えないところに氏名を記載するなど一人一人のプライバシー保護に関する指導をしている。 	B
保護者との連携	<ul style="list-style-type: none"> ・ICTによる連絡 ・行事への参加依頼 	<ul style="list-style-type: none"> ・園児管理システムによりお知らせや連絡はアプリで行い、双方向の連絡体制を構築している。 ・毎月の誕生会や運動会、クリスマス祝会、作品展等保護者に参観いただく機会を増やしている。 	A

4 具体的な目標や計画の総合的な評価結果

A…十分達成されている B…達成されている C…取り組んでいるが成果が十分ではない D…取り組みが不十分である

結果	理由
B	教職員の研修しやすい環境を整える。
B	常に園児の安全の先を見据えて先手先手で手を打つ。

5 今後取り組むべき課題

課題	具体的な取り組み方法
2歳児クラスと預かり保育の質の向上 子どもの権利 ICT化	<ul style="list-style-type: none"> ・保育人員を充実させて地域の方々に子育てを支援する環境づくりに努める ・保育者の自己研修を充実させたい ・武蔵野市子どもの権利条例に基づき、子どもの権利を守るため保護者の方々と協力してそれぞれの役割を守るために連携協力していく ・ICT化を推し進め保護者や職員の負担の軽減

6 学校関係評価委員会の評価

コロナ禍で感染防止のために中止、または制限をかけて行っていた行事も制限を少なくし開催して下さり従来の活気を取り戻しつつあります。

運動会は学年ごとではなく一斉に行われました。子どもは他学年を見て憧れを持ったり応援する気持ちを持ち参加することができていました。保護者にとっても、成長する子どもの姿を学年を追ってみることができ、これからの成長に期待を持つ機会ができたと思います。

以前のスタイルをそのまま取り入れるのではなく試行錯誤しながら、子どもたちにとってより良い環境作りを目指し、職員同士が話し合い、保護者の声にも寄り添って取り組んでいる様子が伺えます。

近年の温暖化の影響により、熱中症対策も必須になりました。クラスごとに体温計をおき定期的な検温や水分補給をして下さっています。感染症などの体調不良児が出た場合は、らくらく連絡網でこまめに注意喚起をして頂き家庭でも体調を見守ることができます。

保育の形を知ってもらうために見学会の機会を多くしたり、地域の人が安心して子育てができるよう、預かり保育や、未満児保育、2歳児保育など、地域の家庭のニーズに寄り添い、地域に開かれた場としても欠かせない施設であると思います。

安全管理のところでは、サイクルスタンドを取り付けてより安全に過ごせるように改善して下さいました。

細やかな配慮により子どもたちも安全で楽しく日々を過ごすことができます。保護者も園を信頼して子どもたちを預けることができ感謝しています。よって評価は妥当だと思います。

世の中的にコロナなどの感染症対策の規制がかなり緩和されてきた一年でしたが、他に比べると必要な対策はしっかり継続されている努力を感じられました。また今年は更なる安全管理をされていて幼い子供を預ける保護者としては安心できる園だと思います。

卒園してだいぶ経ちましたが、家庭での子育てでは出来ないことを沢山経験させてくれる園なので栄光乃園に通わせて良かったと思っています。

評価ですが、卒園している私としては A 評価です。